

お名前よべば

■楽曲データ

歌詞：大谷範子 作詞

楽曲：高木了慧 作曲

発表：浄土真宗本願寺派仏教婦人会総連盟 2010年

初演：—

初出：『めぐみ』2011年3月号 浄土真宗本願寺派仏教婦人会総連盟事務局

管理番号：M2642

■創作の経緯

親鸞聖人750回大遠忌法要・第14回世界仏教婦人会大会の記念ソングとして制作。
《み教えをあなたと聴く》とともに発表。

■校訂報告

校訂譜：『聖歌・讃歌集』第2巻収録

底資料：自筆譜

比較資料：—

校訂の詳細：特記事項なし

■解説

◆詞と曲について

作詞は、仏教婦人会総連盟総裁であられた大谷範子お裏方（現・前裏方）です。親鸞聖人750回大遠忌のスローガンであり、第14回世界仏教婦人会大会のテーマともなった「世のなか安穏なれ」という願いが込められた作品となっています。

1番から4番では、四季の移り変わりによせて、親鸞聖人をお慕いする気持ちや、おみのりが歌われます。そして5番では、「お名前呼んでありがとう」と親鸞聖人のお徳を讃えつつ、「平和な世界へ手をつなごう」と、世のなかの安穏を願います。

曲では、冒頭で3回繰り返される「親鸞さま」という呼びかけが印象的です。メロディーに、明治以来、唱歌や軍歌で好んで用いられてきたぴょんこ節（全体を貫く付点のリズム）が用いられているのも、どこか懐かしさを感じさせます。

作曲は、高木了慧さん。相愛大学音楽学部、同研究科で学んだ作曲家で、雅楽の演奏家としても活動しています。

◆練習のヒント

①付点のリズムにのって、調子よく歌いましょう。

②冒頭の「親鸞さま」という呼びかけ（5～8小節）をどのように歌うかが、この曲のポイントのひとつです。また、この部分はソの音を中心に旋律線が動いています。フレーズの最後までソの音と同じ高さになるように、音程をうまくまとめましょう。

③11小節目から12小節目にかけて、ラ→レ→ラという跳躍音程があります。ここが曲のなかで、最も音域が高い部分です。支えをきちんとつくって、正しい音をねらいましょう。高い音だけでなく、下りたらの音（12小節目1拍目）にも注意しましょう。

解説執筆：山口篤子（本願寺仏教音楽・儀礼研究所 [現・浄土真宗本願寺派総合研究所仏教音楽・儀礼研究室] 研究員）

※本解説は、「メロディーの宝石箱」No. 86（仏教婦人会総連盟機関誌『めぐみ』第213号収録）を加筆・修正のうえ、転載。

Copyright: Jodo Shinshu Hongwanji-ha Research Institute. All Rights Reserved.